

## 児童・家庭福祉出題範囲 -過去問（3年間）-

### 1 児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要（一人親家庭、児童虐待及び家庭内暴力（DV）、地域における子育て支援及び青少年育成の実態を含む。）と実際

#### (1) 児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢

①【第33回 問141】 子どもの貧困対策の推進に関する法律に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 基本理念として、子どもの貧困対策が児童虐待の予防に資するものとなるよう、明記している。
- 2 子どもの貧困対策では、子どもの年齢及び発達に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮されなければならない。
- 3 政府は2年ごとに、子どもの貧困の状況と貧困対策の実施状況を公表しなければならない。
- 4 社会福祉協議会は、貧困の状況にある子どもの保護者に対する就労支援に関して必要な対策を講じなければならない。
- 5 文部科学省に、特別の機関として、子どもの貧困対策会議を置く。

#### (2) 児童・家庭の福祉需要（一人親家庭、児童虐待及び家庭内暴力（DV）、地域における子育て支援及び青少年育成の実態を含む。）

②【第33回 問140】 子育て支援に係る法律に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 子ども・子育て支援法に基づき、国は、子どもと保護者に必要な子ども・子育て支援給付、地域子

ども・子育て支援事業を総合的・計画的に行う。

- 2 次世代育成支援対策推進法に基づき、市町村は、3年ごとに次世代育成支援対策の実施に関する計画を策定することが義務づけられている。
- 3 次世代育成支援対策推進法に基づき、常時雇用する労働者が100人を超える一般事業主は、一般事業主行動計画を策定しなければならない。
- 4 児童福祉法に基づき、保育所等訪問支援では、小学校長が命じる者が保育所等を訪問して、就学前教育に関する助言を行う。
- 5 母子保健法に基づき、乳児家庭全戸訪問事業では、生後8か月に達した乳児の家庭を訪問して、指導を行う。

### 2 児童・家庭福祉制度の発展過程

#### (1) 児童・家庭福祉制度の発展過程

### 3 児童の定義と権利

#### (1) 児童の定義

#### (2) 児童の権利

③【第32回 問137】 次のうち、子どもの権利に関する先駆的な思想を持ち、児童の権利に関する条約の精神に多大な影響を与えたといわれ、第二次世界大戦下ナチスドイツによる強制収容所で子どもたちと死を共にしたとされる人物として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ヤヌシュ・コルチャック (Korczak, J.)
- 2 トーマス・ジョン・バーナード (Barnardo, T. J.)
- 3 セオドア・ルーズベルト (Roosevelt, T.)
- 4 エレン・ケイ (Key, E.)
- 5 ロバート・オーウェン (Owen, R.)

### 4 児童福祉法

### (1) 児童福祉法の概要

④【第31回 問136】 医療型障害児入所施設に関する次の記述のうち、正しいのを1つ選びなさい。

1. 医療法に規定する病院として必要な設備を設けることとなっている。
2. 環境上の理由により社会生活への適応が困難になった児童が入所対象である。
3. 児童の遊びを指導する者を配置しなければならない。
4. 障害児入所給付費に関する事務は市町村が行っている。
5. 虐待を受けた児童でないことが入所の要件となっている。

⑤【第32回 問138】 児童福祉法に基づく里親制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 里親には、養育里親、養子縁組里親、親族里親、週末里親の4種類がある。
2. 里親となることを希望する者に配偶者がいなくても、都道府県知事が認めれば里親として認定される。
3. 全ての里親希望者は、必要な研修を受講することが義務づけられている。
4. 一人の里親希望者に対して、異なった種類の里親を重複して認定することはできない。
5. 里親への委託が開始される児童の年齢は、12歳未満と定められている。

## 5 児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）

### (1) 児童虐待防止法の概要

⑥【第31回 問137】 X保育園に転園して間もないGちゃん（5歳）は、父親が迎えに来るとおびえた表情をする。母親の顔にはあざができていたこともあった。今朝、Gちゃんを送ってきた母親の顔は腫れており、保育士が声をかけると避けて、すぐに帰ってしまった。お昼寝の時間になり、Gちゃんは

保育士の耳元で、昨夜、父親が母親を激しく殴ったことを打ち明けた。Gちゃんが寝た後、保育士はこのことを園長に報告した。

次の記述のうち、保育園の初動対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 職員会議を開いて全職員にこのことを伝え、意見を聞いて対応を検討する。
2. 園長から児童相談所に通告する。
3. 母親が迎えに来たら、詳しい状況を聞くことにする。
4. Gちゃんの家庭の様子を、近隣に住んでいる他の園児の保護者に聞く。
5. 父親と連絡を取り、Gちゃんの話を受け、状況を尋ねる。

## 6 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）

⑦【第33回 問138】 事例を読んで、Z配偶者暴力相談支援センターのH相談員（社会福祉士）によるこの時点での対応として、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

Jさん（35歳）は夫（45歳）と娘（7歳）の3人暮らしである。日々の生活の中で、「誰のおかげで飯を食わせてもらっているのか。母親失格、人間としても駄目だ」等と毎日のように娘の前で罵倒され、娘もおびえており、Z配偶者暴力相談支援センターに相談に来た。H相談員に、夫の言葉の暴力に苦しんでいることを相談し、「もう限界です」と話した。Jさんは娘の成長にとってもよくないと思っている。

1. 家庭裁判所に保護命令を申し立てようJさんに勧める。
2. Jさんの希望があれば、Jさんと娘の一時保護を検討できるとJさんに伝える。
3. 「身体的暴力はないのだから」と、もう少し様子を見るようJさんに伝える。
4. 警察に通報する。
5. 父親の行為は児童虐待の疑いがあるので、児童相談所に通告する。

## 7 母子及び寡婦福祉法

**(1) 母子及び寡婦福祉法の概要**

⑧【第31回 問 138】 母子及び父子並びに寡婦福祉法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 母子生活支援施設は父子家庭も利用できる。
2. 母子・父子自立支援員は、社会福祉士の資格が要件となっている。
3. 母子及び寡婦福祉法（現在の母子及び父子並びに寡婦福祉法）は、1980年代に父子家庭を対象に含めた。
4. 児童扶養手当は、父子家庭も対象にしている。
5. 母子及び寡婦福祉法（現在の母子及び父子並びに寡婦福祉法）が定める自立促進計画は事業主がつくる計画である。

**8 母子保健法****(1) 母子保健法の概要**

⑨【第32回 問 139】 母子健康包括支援センター（子育て世代包括支援センター）の業務に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 配偶者からの暴力がある家庭で乳幼児を養育している母につき、子と共に一時保護する。
2. 妊娠・出産・子育てに関する妊産婦等からの相談に応ずるとともに、必要に応じ、支援プランを策定する。
3. 乳幼児がいる世帯の経済的な問題に関する保護者からの相談に応ずるとともに、必要に応じ、現金給付を行う。
4. 保育所利用の申請に関する相談に応ずるとともに、保育所利用の申請を受け付け、入所の可否の判断を行う。
5. 病院又は診療所の付置が義務づけられており、必要に応じて出産や病気の診断、治療等の医療行為を行う。

**9 児童手当法**

⑩【第33回 問 139】 事例を読んで、Kさんの児童手当の支給先として、正しいものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Kさん（13歳、女性）は、父からの身体的虐待によりS市に住む家族と離れ、T市にあるU児童養護施設に入所した。S市役所にKさんの母が来て、これまで父に支払われていたKさんの児童手当は誰に支払われるのかと聞いた。

1. T市
2. Kさん本人
3. Kさんの父
4. U児童養護施設の設置者
5. 支給は停止される。

**10 児童扶養手当****(1) 児童扶養手当法の概要****11 特別児童扶養手当等の支給に関する法律****12 次世代育成支援対策推進法****13 少子化社会対策基本法****4 売春防止法****15 児童・家庭福祉制度における組織及び団体の役割と実際****16 児童・家庭福祉制度における専門職の役割と実際**

17 児童・家庭福祉制度における多職種連携、ネットワーキングと実際

18 児童相談所の役割と実際

(1) 児童相談所の組織体制

⑩【第32回 問 142】 児童相談所の設置及び業務に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 都道府県及び政令指定都市・中核市は、児童相談所を設置しなければならない。
- 2 児童相談所長が行う一時保護は、保護者の同意なく1か月を超えてはならない。
- 3 児童相談所長は、児童本人の意に反して一時保護を行うことはできない。
- 4 児童相談所長は、児童等の親権者に係る民法の規定による親権喪失の審判の請求を行うことができる。
- 5 管理栄養士の配置又はこれに準ずる措置を行うものとする。

(2) 児童相談所と市町村の連携

(3) 児童相談所の活動の実際

⑫【第31回 問 142】「平成28年度福祉行政報告例」（厚生労働省）における児童相談所の相談に関する統計の説明のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 児童相談所が対応した児童虐待相談件数は、10万件を超えている。
- 2 児童相談所が対応した虐待相談を虐待種別で見ると、身体的虐待が最も多い。
- 3 児童相談所が対応した相談のうち、児童福祉法に基づく入所措置をとったものは3割程度である。
- 4 児童相談所が受け付けた相談の相談経路は、学校が最も多い。
- 5 児童相談所が受け付けた障害相談の内訳で見ると、肢体不自由相談が最も多い。

①【第33回 問 141】	2	⑦【第33回 問 138】	2.5
②【第33回 問 140】	3	⑧【第31回 問 138】	5
③【第32回 問 137】	1	⑨【第32回 問 139】	2
④【第31回 問 136】	1	⑩【第33回 問 139】	4
⑤【第32回 問 137】	2	⑪【第32回 問 142】	4
⑥【第31回 問 137】	2	⑫【第31回 問 142】	1